

2. 消防施設

1. 消防機械

消防機械は、消防力の強化により年々向上増強されており、10年前と比較すると、消防ポンプ自動車（水槽付を含む）は0.95倍、救急自動車は1.10倍、はしご付消防車は1.10倍になっている。

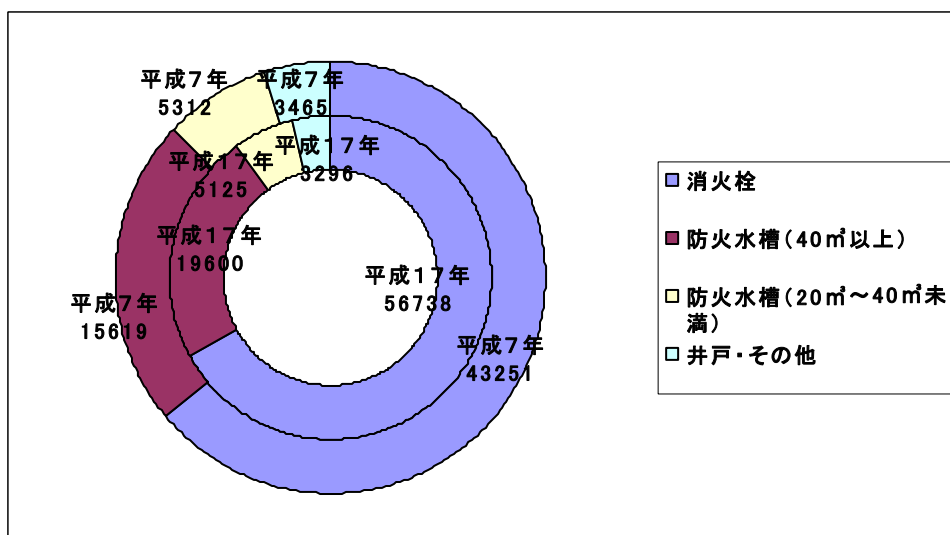
はしご付消防車は、屈折はしご車が6台、はしご付消防ポンプ自動車（ポンプ付でない車両を含む）が62台であり、計68台となっているが、建物の高層化により30m級以上のものが約9割を占めている。

救助工作車は52台あり、10年前の43台と比べると1.21倍の伸びである。

2. 消防水利

消防水利は火災鎮火のため不可欠のものであり、消火栓、防火水槽及び河川等がある。消防水利は宅地開発と水道の普及が影響して消火栓の伸びが大きい。大地震及び大火に備えて防火水槽の増加を一層図っていく必要がある。

消防水利名	平成17年4月(a)	平成16年4月(b)	(a)-(b)	(a)/(b)×100(%)	
消火栓	56,738	53,562	3,176	105.9	
防火水槽	40 m ³ 以上	19,600	19,015	585	103.1
	20 m ³ ～40 m ³ 未満	5,125	5,248	△ 123	97.7
井戸	541	526	15	102.9	
その他（自然水利等）	2,755	2,772	△ 17	99.4	



10年前と比較してみると、消火栓は13,487（1.31倍）の伸びであり、40 m³以上の防火水槽は3,981（1.25倍）の増加であり、また20～40 m³の防火水槽は187（0.96倍）の減少である。